

10月 ぽっかぽか りすぐみ

朝と夜の気温が下がり、ぐっと秋らしくなってきました。長久保公園の木々も、緑から赤や黄色に変わり、外遊びが気持ちよい季節に突入です！子ども達は落ち葉の上をカサカサ踏んで音を鳴らす、集める、ちぎる、などそれぞれ工夫して遊び、自然に触れています。室内では、どんぐりやまつぼっくりなど秋を感じる素材を飾ったり、触る機会を設けています。気持ち良い気候の今、ぜひ秋を探してみてください🍂



おもちゃや絵本などに星を見つけると♪きらきらぼし♪が振り付きで始まることがあります。りす組の子どもたちは歌が大好きです！お部屋でわらべうたが始まると、「わたしも！」「ぼくも！」と大人の側に集まってきて一緒に手を動かしたり、コロンと寝転がったり足や手を出したりして「やって」と伝える姿もあります。

お部屋だけでなく、移動しているときの待ち椅子に座ったとき、外遊びの靴を履いた後などに歌うこともあります。場面が変わるとき、気持ちがそわそわ、ドキドキ、ちょっと一呼吸しよっか！というときに歌うと、体と心が落ち着いて表情がニッコリ、ほっとすることもあります。

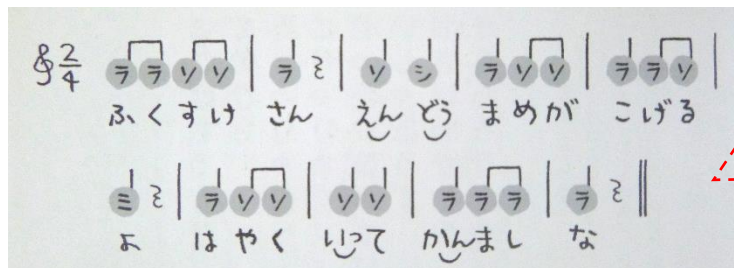
♪りす組でうたっているわらべうたをご紹介します♪

わらべ歌には以下の3つのようにいろいろな要素があります。

- ① 舟こぎ・膝のせ・足のせ飛行機のような体を使い腹筋などの筋力を鍛えたり、バランス力の向上につながるもの
- ② 手遊び・指遊びのように腕や指先を刺激するもの
- ③ 歌の中で数字に触れたり、発語を促す事に繋がるもの

子どもの発達を促す要素がたくさんあり、道具や場所もほとんど選びません。そんないいことだらけのわらべ歌♪ クラスで遊んでいる歌を紹介したいと思います！

♪ふくすけさん♪



子どもの足の指を
大人の人差し指と親指ではさむようにして
親指側から小指に向かって4拍ずつ触っていきます。
最後に「ぴっ」と言って小指をひっぱります。

「もう1回」とエンドレスに繰り返すこともあります！

🌸リズムや音程など分からないことがありましたら、
歌います！ので、ぜひ声を掛けてくださいね🌸

？どうしてわらべうたを歌っているの？

わらべ歌は、子どもたちが遊びや生活の中で昔から歌い継がれてきた“子どもたちのためのうた遊び”です。子どもたちが見た物や感じたことが歌に込められています。メロディーも簡単に覚えやすく、自然に歌うことができるように作られています。また、わらべうたは歌いながら大人と子どもがスキンシップをとることとで安心感と絆を深めるツールでもあります！

遊び方の基本は、

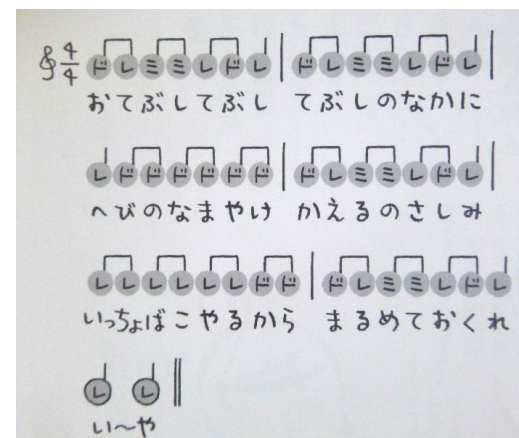
『大人と子どもが1対1で、大人が子どもに対して仕草や動作をすることです。』

子どもと向かい合うときは顔を見て目を合わせ、

同じ方向を向いて行ときは子どもの反応を観ることを意識すると一緒に歌う楽しさが味わえます♪

わらべうたを繰り返し歌う中で仕草や歌を覚えた子は、自分にはしてみたり、友だちにはしてみたりするようになっていきます。「わたしにもやってほしいな」と大人が言うと、大人がやったようにしてくれることもあります(これを『お返し』と言います)。ぜひ親子でお互いにやってみてください！

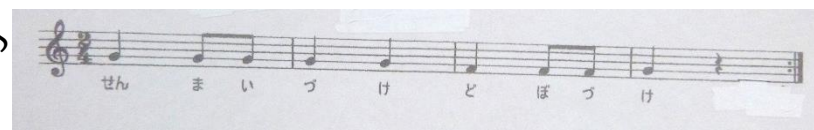
♪おてぶしてぶし♪



大人は合わせた手の中に宝物(お手玉だったり、石だったりします)をひとつ入れます。うたいながらリズムに合わせて手を前後に揺らし、「どっちだ」でどちらかの手に宝物を入れて子どもたちに当ててもらいます。

子どもたちは、大人の手をじっとみて考えたり、集中して歌を聴いたりしながら楽しんでます！

♪せんまいづけ♪



子どもと目と目を合わせて向かいあって立ち
(目線を合わせるため、大人は座る)
手をつないで歌のリズムに合わせて
つないだ手を左右に揺らします。
3回繰り返し歌って、最後に目を合わせて
♪どぼどぼ♪と手を揺らしながら引き下げます。

どぼどぼの前に間を開けると、目をキラキラさせて「今かな？今かな？」と楽しんでます！